

平成 20 年 3 月 27 日
長野市中心市街地活性化協議会

平成 20 年度「長野市中心市街地活性化協議会」年間事業計画（案）

1. 会議の開催

- 運営会議…年 6 回程度開催
- 総会…年 2 回程度開催
- 個別プロジェクト検討会議…随時（研修会から持ち上がったテーマの事業化など）

2. 研修会・勉強会の開催

- まちづくり研修会
 - ・商店会の若手商業者（30～40 代）等を対象に若者の会をつくり、自由にテーマを設定して幅広く街を考える場をつくる。（テーマ設定例：街の将来像・あり方、接客、バリアフリー、イベント効果を生かす販売促進策など）
 - ・その中で次代のまちづくりリーダーを育成するとともに関係者の連携を図る。専門家を招き必要な講習も実施する。
- まちづくり勉強会
 - ・協議会会員ほか関係者を対象に、下記 3 の調査・研究事業の結果等を基にした勉強会を実施する。

3. 調査・研究事業の実施

- 中心市街地業種業態調査（空き店舗調査）
 - ・19 年度に実施した業種業態調査のフォローとして 20 年度の空き店舗分布状況調査を行う。
 - ・所有者ヒアリング等により空き店舗である原因を分析し対策を検討する。調査結果は上記 2 のまちづくり勉強会での検討材料としても活用する。
- 拠点施設来店者調査
 - ・ばていお大門、もんぜんぷら座、トイーゴ、ウエストプラザ等の拠点施設の来店者調査を実施し、各拠点の集客力向上及び街の回遊性向上の参考資料とする。

4. 情報発信

- ・ホームページによる情報発信等

5. 年次計画（予定）

月	内 容	
4 月	運営会議①	
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等情報発信 ・個別プロジェクト検討会議（随時） ・研修会（随時） 	
6 月		運営会議②
7 月		総会①
8 月	運営会議③	
9 月		
10 月	運営会議④、アンケート調査	
11 月	"	
12 月	運営会議⑤	
1 月	勉強会	
2 月		
3 月	運営会議⑥、総会②	↓

6. 収入

項目	金額(円)	内 訳
国庫補助額	9,200,000	13,854,248円×2/3(補助率)=9,200,000円
自己財源	4,830,401	事務局負担金
前期繰越金	3,847	
合計	14,034,248	

7. 経費

科目	金額(円)	内 訳
■タウンマネージャー設置経費		
旅費	235,880	6ヶ月定期代(明科⇄長野)@117,940円×2
委託費	9,000,000	業務委託契約(H20.4~H21.3)@50,000円×180日
■委員会開催に係る経費		
委員等謝金	45,000	研修会講師:@15,000円×3回
会場借料	49,368	研修会:トイゴ「大学習室1」@8,228円×6回 ※会場使用料5,100円+備品使用料1,000円+冷暖房費2,128円
印刷費	180,000	会議資料:@10円×30頁×50人×12回【補助対象外】
通信運搬費	24,000	郵便料:@80円×50人×6回(総会、研修会案内)
■調査・研究に係る経費		
委託費	4,500,000	調査業務委託
合計	14,034,248	

8. タウンマネージャーの業務内容

■年間計画

- ・平成20年4月~平成21年3月の期間、業務委託契約を締結する。

■業務内容

(1) 協議会活動推進のための業務(関係者の合意形成、事業化支援)

長野駅前や空き店舗が増加している権堂周辺エリアなど、駅前の顔作り、青空駐車場等の低未利用地等を再生するための方策を検討していく。地権者等の意向の聞き取り、関係者の巻き込み、有効活用策の提案、事業採算性のアドバイス等を行う。

(2) (株)まちづくり長野の経営指導業務(各事業の運営管理等)

TMOとして中心市街地の活性化のために実施してきた、TOMATO食品館(大型空き店舗対策)、楽茶れんが館(空き店舗対策)、ぱていお大門(地域資源活用型商業拠点整備)、表参道もんぜん駐車場(駐車場対策)、起業家インキュベーション施設(起業家育成)の経営指導、運営管理を行い、拠点施設の賑わい回復、回遊性向上等により中心市街地活性化を図る。

(3) 中心市街地活性化に必要な各事業の企画・立案、テナントミックス等に係るアドバイス

中心市街地全体のエリアマネジメントと、次代のまちづくりに必要な事業や政策の研究等、総合的なアドバイス。